

1990

1

No.390

広報

入善町

新春、きらめき号



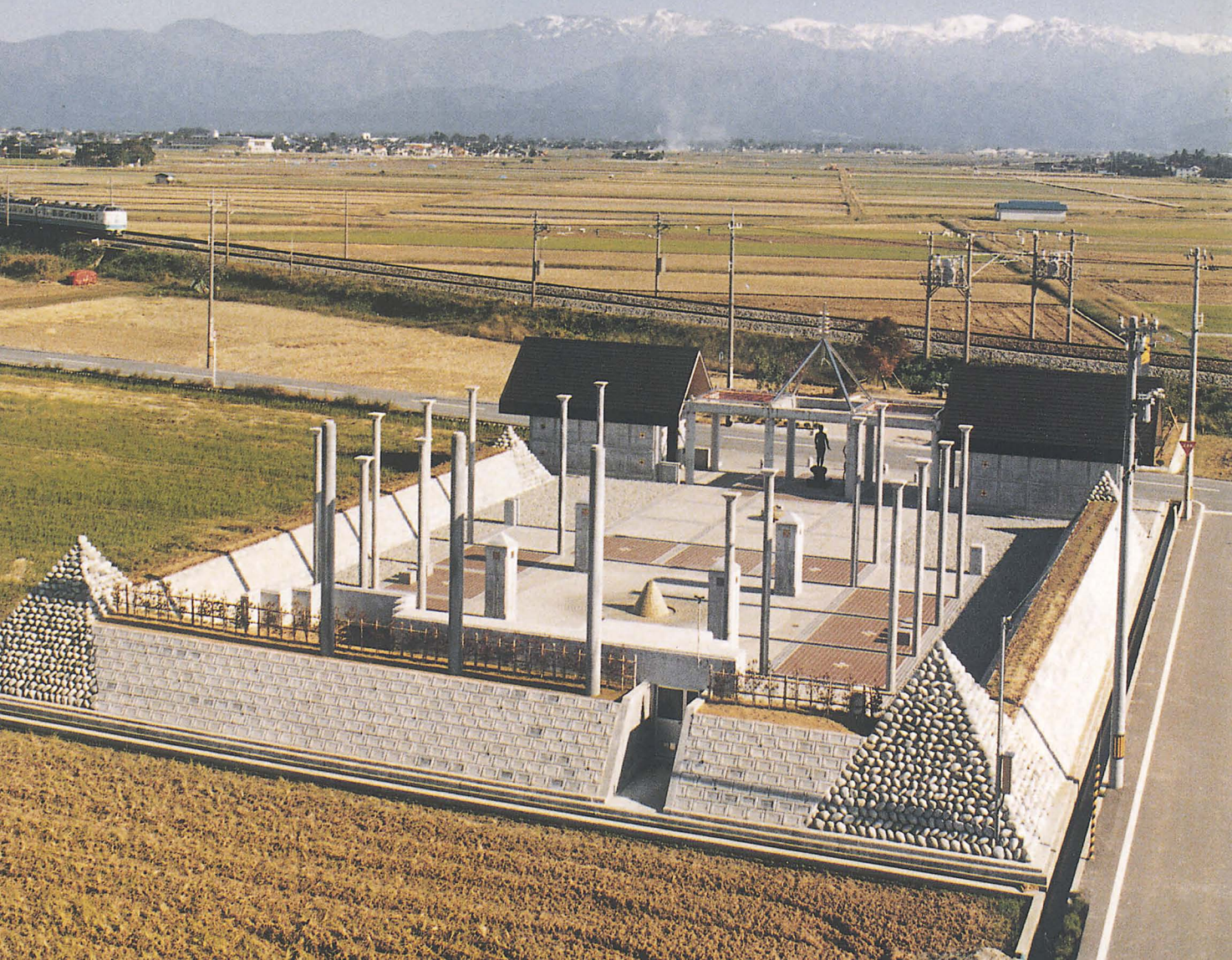
水キラキラ
町いきいき入善

●発行/入善町役場 ☎939-06 富山県下新川郡入善町入膳3255 ☎0765(72)1100 FAX 0765(74)0067 ●編集/総務課

■町のイメージアップ作戦

PART. 21 「扇状地湧水公苑」

しゃれた雲田気を漂わす“水公苑”。名水の里入善をPRする絶好のシンボルです。水の恵みに感謝する「水神殿」のイメージで造られ、入口の鳥居を通り抜けると噴水が吹き出し、まるで身を清めてくれるかのよう。そう、初詣にぜひ水公苑へ。今年も、水キラキラ町いきいき入善!!



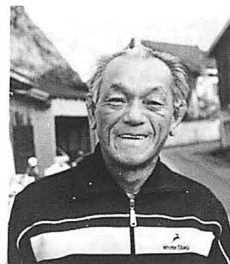
★新年にかける抱負・期待・夢を語ってもらいました★



金山 寿志さん (中沢・20歳)

僕も大人になるぞ

とうとう大人の仲間入り。間もなく成人式を迎えます。自分の行動に対して、今まで以上に責任がきまとうのかと思うと少ししんどい気がします。けど自分なりに努力を重ね、仕事や遊び、何においても有意義な毎日を送るのだ。



今井 清さん (吉原1区・70歳)

目標、15000キロ！

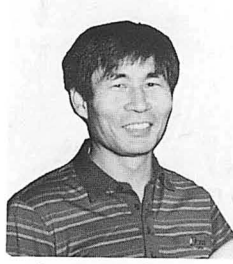
健康づくりのために2年前からウォーキングを始めました。雨の日以外は毎朝7〜8kmは歩きます。現在、「日本列島踏破」に挑戦、全国地図に歩いた距離分をなぞっていきます。今年1年の目標は15000km。北海道上陸を目ざしてがんばります。



小路 真紀ちゃん (小摺戸2区・6歳)

ピカピカ1年生

4がつになったら、おにいちやんといっしょに、こくとうしようがっこうへかよいます。おえかきや、てつぼうや、ピアノをひいて、えほんもいっぱいよんでみたいですね。せんせいはどんなひとかな。はやくがっこうへいってみたいです。



本多 尚文さん (上飯野1区・46歳)

今年こそ上位進出を

地区のビーチバレーチームに所属し、週2回近くのセンターで練習しています。町の大会での成績は良いのですが、県体など大きな試合となると今一歩。今年は仲間の輪を広げるとともに、全試合出場と上位進出を目指してがんばります。

年内に決定か!?
初詣でお願いすること。やっぱり「早く素敵な男性にさらわれたい」ということかな。努力次第では年内達成も夢じゃないはずなんだけど、いったいどうなることやら…。とりあえず今年、スキの技能審査に挑戦して1級を取りたいです。



柴垣由香利さん (入善14区・25歳)

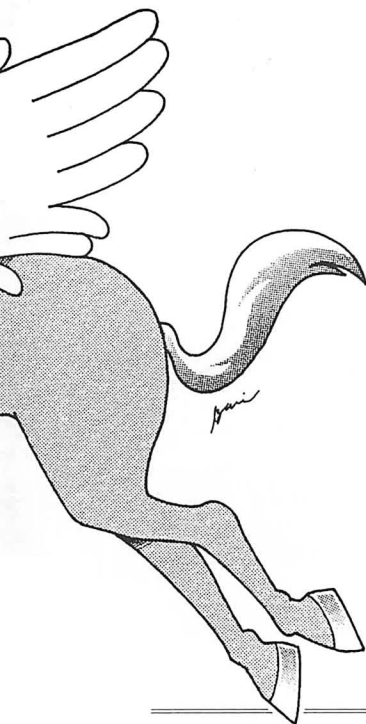
春よ来い、早く来い

高校入試まであと3か月足らず。毎日夜中まで机に向かって勉強。桜咲く春まで、お正月はおあずけです。合格したら何をしようかなあ。将来は英語の先生になりたいと思っているんです。受験生のみなさん、ともにこの冬を乗り切りましょう。



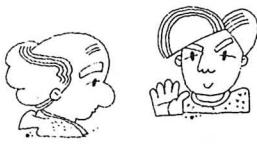
山本 邦彦君 (舟見3区・15歳)

賀正
明日へ飛躍!



昨年1年間の町のできごと

いろいろあった昨年のできごとを、月を追って振り返ってみましょう。明るい話題ばかりが顔を並べました。



- 平成元年は町のイメージアップ元年。シンボルタワーやPRポスターが町のあちこちに。(2月)
- 雪つ子まつり。残念ながら雪は降らずじまい。(2月)
- 県内初の屋内ゲートボール場オープン。新名所、扇状地湧水公苑が完成。(3月)
- 名器ベーゼンドルフアーピアノがコスモホールに。(4月)
- フォー市との姉妹都市締結。国際化への新たな幕あけ。町政百周年記念植樹。(5月)
- 映画「少年時代」の町内ロケ初まる。米サミット開催。(8月)
- 入善小学校新校舎完成。合口用水改修工事本格着工。(9月)
- 柚木町長三選、新議員3人誕生。アサヒビール工場、入善町に進出決定。(10月)
- 横山海岸に緩傾斜堤完成、寄り回り波も平気。(11月)

分かるかな？ 入善弁

お年寄りに懐しく、若い人は首をひねるかもしれない入善弁。さて、今月はどんな「ことば」が登場するやら…。

明日はまだ手つかず



入善町長 柚木春雄

新年あけましておめでとうございます。すがすがしい初春をお元気で迎えになったことと存じます。

今年は、町民のための町民の手による町民総合計画の策定に入り、21世紀に向けた町10年の大計を立てます。

私の今年の目標は「今日できることを明日に延ばすな」ですが「明日はまだ手つかず」とも言います。「ゆとり」をもって頑張りたいですね。また、何と言っても健康が第一、そのためにスリムになる努力を続けたいとも思っています。

もうすぐ始まる映画「少年時代」の冬の舞台設営のため、昨年11月に地区のみなさんと昔懐かしい「わらにお」づくりをしました。無事に撮影が終わればいよいよ夏には封切り。映画を通して町のイメージアップと飛躍の年になってほしい。



板沢忠義さん (横山1区・56歳)

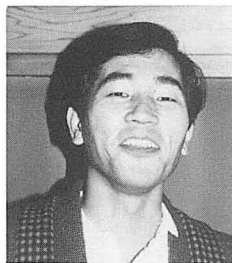
映画が待ち遠しい

地元で花咲きます

長かった学校生活とも3月で卒業、4月からはいよいよ社会人への仲間入りです。少し不安もありますが、地元の会社に就職が決まって喜んでいきます。卒業はしても青春時代はまだまだこれから。若さを武器に何にでもチャレンジしていきたいです。



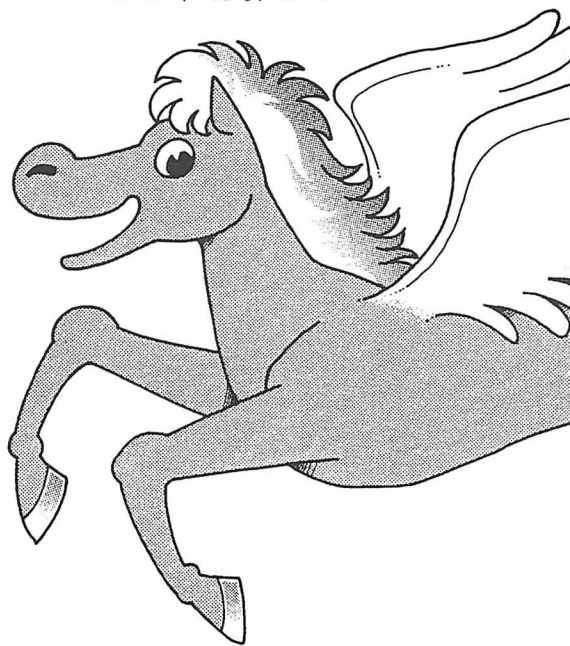
高田由利子さん (新屋・18歳)



前田則男さん (小杉2区・35歳)

俺がやらずに誰が 今年が私が年男、早いものでもう三回りですよ。一番下の子ども4月から小学校へ通います。これからは何ととっても家庭が第一。好きなゴルフも少し控えて、家庭サービスに努めます。一家の大黒柱として、お父さんはますます頑張るぞ！

馬力アップで



木沢操さん (木根・59歳)

町を花いっぱい

地区の婦人らでグループをつくり、四季折りおりの花を育てて楽しんでます。公園や道路花壇、駅、公民館などにも苗を植えさせてもらっています。今年はずっといろんな花に挑戦し、四季を通して町じゅうの花をいっぱいにしたいですね。

今年はどうなる?

平成2年は午年。馬は、人間と気持ちの通う家畜として、昔から親しまれてきました。最近、馬を見かけることは少なくなり、入善町には数年前から一頭もいなくなったそうです。さて、今年予定されている町の主な姿を紹介してみます。

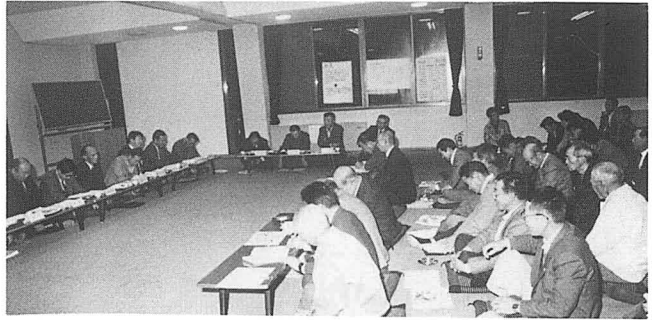
2月には西部保育所が新しくなり、チビツ子たちは大喜び。4月、園家山キャンプ場周辺ではバンガローや「園家野外舞台」がオープンし、屋外活動のメツカに。5月には姉妹都市フオリー市から20名の市民が来町。暖かく迎えたいですね。

夏には、じょうべのま遺跡の整備が完了、町の歴史をつづつた「町史(通史)」も9月に発刊の予定。お待ちかねの映画「少年時代」が全国封切されてロングラン。

2年に1度のスポーツの祭典「町民体育大会」は10月に開かれます。舟見山周辺では保養センターもできるとか。アサヒビールの工場造成工事もそろそろ始まるころでしょう。今年も、ウマいことばかりがありますように！

もちかつ……餅つき。白いお餅を腹一杯食って、正月ちゃんいもんだ。ベツタン・ベツタンと餅かつ。杵と手返し呼吸が難しい。夫婦仲が良いと呼吸が合って餅もうまい。

11月8日	新屋	11月15日	飯野
11月16日	横山	11月17日	青木
11月20日	上原	11月21日	小摺戸
11月24日	入善	11月27日	柵山
12月1日	舟見	12月4日	野中



聞いてほしい… ～町政懇談会の報告から～ 地区が抱える 問題・悩み

町民のみなさんの声を直接町政に反映させようとして、区長会の協力を得て「町政懇談会」が、11月8日から12月4日まで各地区で開かれました。地区が抱える問題や町政に対する要望・意見を伺い、新年度の予算に反映させるために開かれています。各地区で出された意見・要望から主なものを取り上げ、町の対応策と併せて紹介します。

下水道など環境整備 への関心高まる

「町政懇談会」は昭和57年から始まっており、今回で8回目を数えます。町長ほか三役と担当課長が町内10地区の会場に直接出向き、町民のみなさんの質問に答えるという形式をとっています。

どの地区でも、固有の悩みや新しく派生した問題が山のようにあり、訴えるみなさんの表情は真剣そのもの。予定の時間を大幅にオーバーしてしまうほどの熱論が続きました。

全地区を通して最も多かった要望は、道路や水路の改修が今年もトップを占めました。

今年特に目立った点として、地下水保全や下水道整備など水環境に対する問題が入善、青木、小摺戸など6地区で取り上げられました。また、参加者は年輩の方々がほとんどであり、女性や若者の声があまり聞かれなかったのは少し残念でした。

今回出された意見・要望は、町民の生の声として大いに尊重し、今後の施策にできるだけ多く取り入れていく方針です。

入善会場

- 市街地道路網の基本計画について
 - 消雪道路の延長と今後の計画は？
 - 市街地用排水路の改修について
 - 公共下水道の整備について
- など

■国道8号線拡幅工事はいつから初まるのか。同時に、取付道路や地下歩道の整備も進めてほしい。

— 拡幅工事は、現在幅14mを2倍の28m、4車線にするというもので、入善警察署から上原の農協スタンドまで約2・1kmである。63年には地権者への説明会が終わり、当面は入善警察署から中学校の交差点まで500mの区間から始め、すでに測量が始まっている。今年度は町道・君島・柵山寺線との接続部分の工事が完了するように国に働きかけている。地下歩道については、警察前交差点に設置してもらえるものと思っている。

■都市計画街路中央通り線着工に向けて、現在までの状況と今後の見通しは？

— 計画路線の駅前から国道までの長さ850mのうち、事業決定しているのは駅前から町道上町君島線までである。県と町が主体となつて、当面は駅前から中町線まで200m

を重点的に進める。今年度から本格的に用地交渉や物件交渉を重ねてきている。全部の関係者に了解を得るにはもうしばらく時間がかかりそうだが、建設省や県と連絡を密にし、中央通り線促進協議会の協力もお願いしながら、早期完成に向けて今後も地道に努力を重ねたい。



▶ ラッセシュ時の
国道8号線

上原会場

- 都市計画線上野・吉原線の早期着工と町道の地下道拡幅、消雪装置の設置を
- 吉原海岸保全工事の促進と防災林の造成を
- 「沢杉」の保存強化を など

■生活通路、通学道路としても重要な町道・吉原上野線のJR地下道がたいへん狭く、改良してもらえないか。

今の地下道は幅2・3m、高さ2・3mであり、マイクロバスがやっと通れる状態である。道路がJRと交差する場合、踏切、地下道、立体交差の3つが考えられるが、将来の交通事情を考えると、踏切はできるだけ避けるというのが基本方針である。一方、立体交差や地下道の場合は、規模にもよるが工費は最低でも5億円はかかり、町道の場合全額が町の負担となる。ほかにも重要幹線とJR路線との交差部分の改良は町全体で2、3ヶ所は必要と考えているが、費用が巨額なことから今すぐにとというわけにはいかない。一方、町では将来の道路網整備について、コンサルタントなどに委託して総合的な調査をしているところである。上野と吉原を結ぶ道路

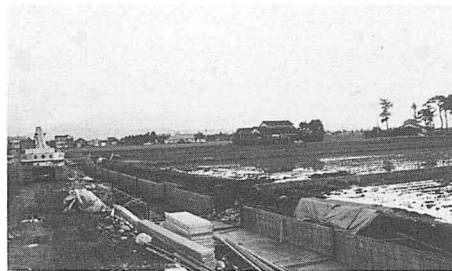
は、将来の都市計画道路として以前からの懸案事業である。どの地点において立体交差や地下道を通すかということについては、今後の交通事情、投資効果などを十分に考えて検討し、早期実現に向けて努力したい。



▶吉原・上野線の地下道

青木会場

◀あちこちで見かける水路改修工事



■下水道計画について町の考えは？

——近年は生活様式の高高度化に伴い、生活排水処理の必要性が急速に高まってきている。

排水処理にはいろいろな方法があるが、いずれにしても巨額の費用がかかり、地域の実情に合った方法の選択が必要である。県では今、下水道事業を実施していくために市街地農山漁村を含めた下水道整備の基本計画の策定が始まっている。平成元年度からは2ヶ年にわたり県下の下水道マップづくりを行っており、町としてもそのための調査や資料の収集に取り組んでいる。現在策定中の町民総合計画の中にも、下水道整備は計画に組み入れたい考えである。

■土地改良区が中心となって進めている水路改修は本来、町が行うべきではないか？

——町を流れる用水路はすべて農業用水であり、その管理は受益者である農家が負担するのが原則である。しかし一般生活用水として利用されているのも事実。用水改修には国や県のほか、町から7・5%を補助しているが、財政的にもこれ以上の負担は困難、というのが実情である。ただ、この問題に関しては総合計画を策定する上で検討したい。

- 働く婦人の家の軽運動室等の増設を
- 下水道計画について町の考えは？
- 目川・木根間の離岸堤設置の促進について

など

飯野会場

- 今後のまちづくりの基本的施策を問う
 - 漁港海岸道路の整備拡張を
 - 高齢者など町民福祉の将来展望は
 - 転作における特産物の作付奨励助成
- など

■総合体育館の建設は計画済と聞いているが今後さらにどのような施設計画があるのか。

——総合体育館の建設については、現在運動公園に隣接して建設用地の買収等を進めており、既設の陸上競技場、野球場などと有機的に活用が図れるよう平成3、4年度に建設を目ざしている。全体的な計画では、第二体育館や宿泊施設、温水プールなどの併設も必要であると考えている。

■生涯学習活動を活発にするためには、教育委員会や各種団体の連携強化と組織ごとに行っている活動の一元化が必要ではないか。

——生涯学習活動の強化は最優先課題である。町では、町民誰もがいつでもどこでも自主的に学習できる機会や場所を提供し、生涯学習社会の構築を目指しているところである。組織の再構築も必要であれば十分検討し、対応を図りたい。

■砂利採集陸掘り跡地の埋戻しの際に、産業廃棄物等が混ざる恐れはないのか。

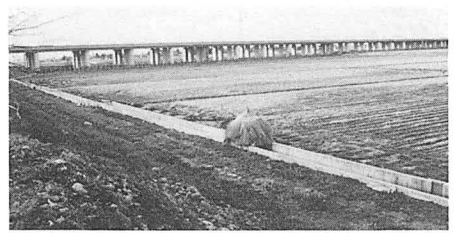
——陸砂利採取の許可は県土木の認可を必要とし、認可を受けた採取業者は採取・埋戻しの状況報告を毎月10日までに土木事務所に提出しなければならないことになっている。埋戻しの際に土砂以外の不純物が混じっている場合には、ただちに工事をストップさせ、やり直しを求め、事前防止としてパトロールも十分なされており、町としても今後の監視強化に努めたい。

◆ずつころぶ……「ころぶ」の強調形。雪道や氷のはった道路で、ずつころぶと骨折する。ころび方の練習が必要なくらい雪道は良く滑る。十分気を付けましょう。

小摺戸会場

■アサヒビール工場
の進出に伴い、地
区へ及ぼす影響は？

アサヒビール工場の入善町進出については、良質で豊富な地下水があることが決め手となった。会社側の説明によれば、地下水の使用量は日量2千トである。昭和52年の通産省調査では地下水の揚水



▲アサヒビール工場建設予定地

可能量が約33万トあり、通常よりも深い層からくみ上げるので、近接地区の地下水低下は無いと考えられる。万一の場合にも備え、町の責任において補償体制は完璧に整えることを約束する。

また工場造成に伴い、福島地内から権蔵橋まで約2300mにわたって、幅11m、歩道付2車線の取付道路の建設を計画している。雇用については従業員50人前後でスタートすると聞いており、地元優先をお願いしている。

■小摺戸地区中央公民館の新・改築の早期実現を図ってほしい。

今の公民館がかなり老朽化していることから、町としても重要な問題だと思っている。産業展示会館や働く婦人の家に類似した形で対応したい。早期実現は困難だが、新しい総合計画にのせ、4年以内に着手する。

- ふるさと創生資金の用途について
- 消雪工事の早期着工について
- 路肩花壇設置場所の用水路にフタを
- 町の下水道計画について

など

新屋会場

- 墓ノ木自然公園の整備について
 - 県道入善・宇奈月線の拡幅
 - スクールバスの路線変更について
 - スーパー農道交差点に信号設置を
- など

■南部中学校の設設計画について町の考えをうかがいたい。

新屋地区の生徒は西中学校までの通学距離が長く、舟見中学校は生徒数が減少し教員の配置に問題が出ている状況からすると、南部中学校新設の構想は必要かもしれない。だが一方では同一地区での校下割れの恐れや、西中学校生徒の減少、建設財源など多くの深刻な問題がある。学校の統廃合の問題は、通学の利便性はもとより、生徒の側に立って、教育効果を上げる環境づくりが重要である。ただ、この問題は役場の指導によって押しつけるものではなく、地域の関係者全員の合意が根本の前提条件である。その条件が整って初めて教育問題懇談会等で具体的な協議を進めることになるだろう。

■現在国営で改修中の合口用水は危険な箇所があり、土砂の流入も心配である。地元の要望を町のほうから国へ伝えてほしい。

■工事は今年度から本格的に始まった。来年度は黒東第3発電所から入善用水取水口までの予定である。第3発電所から下流400mを暗渠にするなど、危険箇所はできるだけ排除する。地元の迷惑も考え、町としても農業水利事業所や北電など工事関係機関と交渉を続けていきたい。

柵山会場

- 柵山小学校体育館の新設及びグラウンドの拡張整備を
 - 米の消費拡大対策について
 - 下水道の計画について
- など

■近年、住宅の建設が相次ぎ、人口増加が続いている。保育園児の数も増え、保育所の増築・新築が必要ではないか。

老朽化した保育所を改築する場合には、築後20年間を経過していなければ建て替えの対象としない。柵山保育所は築後16年であり、この場合の対象にはならない。

柵山地区の幼年者人口は、現在横ばい状態であり、雇用促進住宅が平成3年に完成予定されていることを考えれば、幼児数が増えることも予想される。もし急増するとなれば、現在の保育所を増築しなければならぬだろう。現時点では増築の考えはないが、今後の動向をうかがいつつ対処したい。

■「働く老人の家」の設置を図ってほしい。

老人の教養の向上とレクリエーションの場としては、上原地区の老人福祉センターがあり、ここを大いに利用していただきたい。センターに希望する講座がない場合は、希望者を募っていただければ新たな開設も可能である。

一方、最近では働く場所を提供するということも、生きがい対策の一環として重要になっている。老人福祉センターなどに作業所を付設する方法もあるが、「シルバー人材センター」を別に設立する方法を検討したい。



▶子どもたちの側に立った教育環境づくりを...

横山会場

▼空き家が点在する八幡地区。



■地区体育館の建設を推進してほしい。
——小学校と地区住民とが共用する形で体育館になるだろうが、横山小学校は柗山小学校同様、老朽化対策が残されている。学校の改築は難しいので、ミニ体育館（講堂）の建設が先に来るが、財源的に見て平成5年以降になるであろう。

■過疎化歯止め策を町としても真剣に考えてほしい。そのためには公営住宅や老人ホームなど公営施設を設置する計画は無いのか。
——老人ホームの建設については、入所希望者と施設の受入れ能力とを照らし合わせながら考えていく必要がある。しかも近隣市町の協力を得ながら広い範囲で検討しなければならぬ。黒部市と朝日町の老人ホームでは定員を約50名ずつ増やす計画があると聞いており、これによって現在のところは対応できると思う。横山地区内での公営住宅建設の計画は無いが、これに代わるものとして分譲宅地の造成を進めたい。地権者の協力と入居希望者を把握すればすぐに取りかかれるものと思っ

- 国道8号線及び入善元町と横山地区を結ぶ幹線道路の整備を
- 春日海岸に離岸堤の増設と防潮林の造成を
- 横山地区の道路の拡幅、水路の改修など

舟見会場

▼11月に完成した舟見ふるさとの森遊歩道。



望める。平成3年度には、黒部川扇状地を一望できる。パノラマ展望台の建設に取りかかる。
一方、柗山の観光開発については舟見山周辺開発とは別に、朝日町や宇奈月温泉との結びつきを考慮しながら広域的に特色の出るものとしてのしたい。町の観光のメッカとして、今後地元のみなさんの協力をお願いしながら事業を進めていきたい。

■舟見山周辺のリゾート開発の進捗状況と今後の計画について
——平成元年4月に行なった地区住民アンケート調査の結果によると、舟見地区を魅力あるふるさとにしたいためには温泉を利用した地域振興、リゾート計画が最も多い要望であった。町としても舟見山周辺を温泉を利用した「健康の里」、豊かな自然を利用した「ふれあいの里」と位置づけ、民間活力の導入を図って3か年計画で開発を進めている。
平成元年度は、舟見山への遊歩道の整備が完了し、新左近橋から延びる道路は、現在工事中である。平成2年度は道路や駐車場の舗装と頂上の整備を行う。また9月頃には温泉を利用した3階建の宿泊施設が完成する予定である。平成3年度には、黒部川扇状地を一望できる。パノラマ展望台の建設に取りかかる。

- 県道朝日・宇奈月線の交通渋滞緩和対策について
- 舟見地区アンケートの集計結果について
- 道路の舗装延長及び新設を
- など

野中会場

▼野中小学校横に設置された防災無線。



■入善へ通じるバスが一往復しかなく、高校生冬の冬期間通学に不便さを感じている。町としての対応はないのか。
——富山地鉄によれば、バスのダイヤ改正は年に一度だけ行われる。会社側の利益にかかわることなので、増発や冬期間だけの運行は困難だと思いが、町としても乗車人数の把握等に努め本社へ働きかけたい。

■地区によって防災行政無線がよく聞こえない所がある。改良または増設してほしい。
——同じような苦情は野中地区以外からも出ている。町では、15か所の屋外放送局のスピーカーから災害情報を知らせることになっており、野中地区では小学校横に設置されている。音が到達したとしても、住宅の戸を締めきった時や風の音などで音声が聞きとれないこともある。再度調査をした上で、どうしても聞こえない状態ならばもう1基増設したい。また、62年度から柗山地区で実施されているように、農協の中継局を通じて各戸別の受信器で受信するシステムも考えられる。この場合は農協や個人の負担を伴うが、要望があれば町としても対処したい。

- 野中地区にテニスコートを設置できないか
- 野中・中沢地区消雪用水の確保を
- 今江木鼓の保存に補助金交付を
- 早朝除雪の実施について
- など

●のたくる……波が乗り越えてくること。この季節、寄りまわり波がやってきて、入善町を削っている。おかげで、町の面積が 71.58km²→ 71.29km²になってしまった。又、のた来る。

出身地はどこですか？
 稲葉 妻は山梨県の出身ですが、私はもともと入善町墓ノ木の生まれです。学校卒業後、寿司屋の見習いとして上京し、江東区にある店で30年余り板前を勤めてきました。故郷で自分の店を持つことは昔からの夢。それが実現して大変うれいし、入善は魚が新鮮でおいしいし、お米も最高級のコシヒカリ。日

そとから見たにゅうぜん

昨年9月に越してこられた稲葉俊文さん・しづ子さん夫妻は12月に入善17区で「日の出寿司」を開店。「腕によりをかけて、おいしいお寿司をたくさん食べてもらいたい」と、忙しい毎日が続きます。



お正月の必需品です しめ飾り作り大忙し

農家の主婦で組織している農村婦人しめ飾り協議会のみなさんは、お正月にそなえて1か月前から大忙し。協議会全体で4千個、このうち東五十里地区の「こぶしグループ」では玄関や神棚用に7種類、500個を作り上げました。材料はすべて「天然」で1つ1つに真心がこもっているのが自慢。これなら家内安全まちがいなしです。

大人にはマネできない 保育園年長児の作品展

町立保育所の5～6歳の園児が描いた絵画展が、12月1日から3日間にわたって町民会館ロビーでも開かれました。カニさんやブタ君、大きなお芋に大根、友だちの顔、おとぎ話の世界など約300点、クレヨンや絵具を思うがままに使って描いた作品がずらり。お母さんもわが子の絵を見て「上手だね」と、思わず笑みがこぼれます。



12月10日に武村福祉会館で開かれた勤労者カラオケ大会。労働省が主唱する「リフレッシュ休暇制度普及事業」の一環として、町商工会が工場協会とタイアップして催した初めての行事です。ノドに自信のある34人の出場者に飛び入りも加わって、会場はすっかり歌謡ショー気分。舟見の山本治樹さん(25歳)が、大賞に輝きました。

勤労者カラオケ大会 歌謡ショー気分で大元気回復

カメラ・トリックス カメラ・トリックス

小横東小住
 杉山狐戸所
 西永萩小
 島山原林氏
 とすセリ善和
 江76747840
 一弘和世
 博機義帯主

おくやみ
 〈敬称略〉



下道柵木目小入浦蛇入舟一東上吉新田入小住
 飯野古山根川杉入膳(12区)新沢(6区)見宿狐野原屋中(15区)杉所
 徳名杉高西須大浦瀧森山柳川松七渡田小青
 光取田澤野沢野田三田中川盛木英
 範川高英久野久博三郎幸本隆有一利義田澤幹仁盛英
 生雅夫輝則雅雅三博敏司司一利義田澤幹仁盛英
 長三二長長長二二長長長長長長長長長長
 女男男男女男女男男男女男男女男男女男男女
 史祐朋綾康健隆耕俊大正健卓佳周名
 弥樹美子幸司蘭昭平哉樹和太也織一前

おめでた
 〈敬称略〉

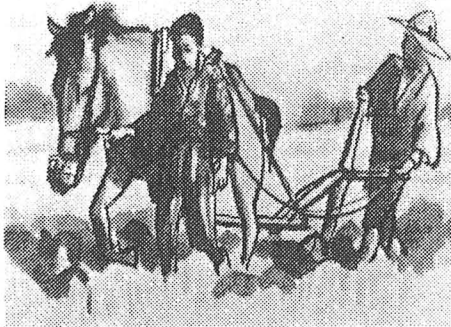


●ごうすん……海岸堤防。横山・春日の海岸に立派な堤防ができた。正月の天気の良い日に、一度行ってみられませ。なにせいいがになつとるべ。

ふるさとの歴史

黒部たちの馬(Ⅰ)

No.35



今年ほうま年だが、私の父は明治39年ひのえうまの1月元旦の生まれであった。生きておれば今年の正月には満84歳になるところであった。父の家には馬が飼われ、長兄が荷馬車ひきをしていたこともあって父は馬が好きで、顔も長かった。晩年は馬の研究に意欲をもち、『越中の馬』と題する小冊子や「下新川地方における馬の生産」と題する論文を発表している。

入善町のあたりはかつては名馬の産地であった。『信長公記』には天正9年(1591)佐々成政が「黒部たちの御馬、当歳・2歳を初めとして19疋」献上したと記されている。宇治川の合戦で有名な生唼、磨墨は『源平盛衰記』に「陸奥国三ノ戸立ノ馬」と記されており、「黒部たちの馬」とは黒部生まれ、黒部育ちの意味である。

『金砂子』という本は黒部川のことを記すなかで、「此川へ名水流れ来る、此水を駒呑合すれば名馬出来ること也、名付けて黒部の駒と云う」と述べている。黒部産の馬は不思議なことに、どんな深い川を渡っても鼻に水を入れることがなかったという。

入善町史編纂委員
奥田 淳爾さん(吉原)

本一の寿司が作れそうです。
—— 30年ぶりに見た入善は？
稲葉 道路がほとんど舗装され、新しい道もたくさんできましたね。商店街は歩道や照明、店舗が近代的になったし、住宅も新しいものばかり。すごく明るい町になったなど、あまりの変化に驚いています。反面、林や小川が少なくなったのが少し残念な気がします。車の台数が多くなった割にバスの本数が少なくなったのも気になります。
—— 今後の抱負は？
稲葉 こちらへ来て3日もたないうちに、すっかり入善弁に変わってしまいました。子供にも友達がたくさんでき、喜んでいきます。今は商売のことで精一杯ですが、入善町民の一員として町づくりにも参加させていただきたいと思っています。

コスモホールが“全国発売”

コスモホールでCD録音



世界的なショパン演奏家として有名なポーランドのピアニスト、ハリーナ・チェルニー＝ステファンスカさんが来町、11月22日に開かれたリサイタルでは「ペーゼンドルファー」を使ったこの年最後のビッグコンサートとあって、超満員のお客さんをすっかり魅了しました。これに先がけ11月15日から3日間、県内異例のCD録音が行われました。今年3月にはショパンのマズルカ全曲集として全国で一斉発売され、町民会館窓口でも予約受付をする予定です。今から楽しみにしてください。

かめら・とびくす カメラ・トピックス かめら・とびくす

届出はお早く

出生届……14日以内
死亡届……7日以内

入膳(12区)	舟見	荒又	東狐	木根	吉原	舟見	東狐	一宿	木根	舟見	入膳(12区)	下野	舟見	荒又	芦崎	入膳(上田)
見	又	狐	根	原	見	狐	宿	根	見	見	野	見	又	崎	上田	
高見弥四郎	下村庄作	青木助太郎	長田伊三右衛門	木本清	奥田新作	水野とめ	川瀬瑛	永井つよ	稲場興次郎	小森まつい	水澤サキ	石田クニ子	藤田みよ	島二次郎	浅倉豊作	上田よね
74	57	73	84	73	83	80	89	90	82	80	64	55	93	74	77	82
本	本	本	隆	本	本	本	達	助	本	本	鐵	英	本	本	勝	盛
人	人	人	一	人	人	人	也	男	人	人	郎	勝	人	人	人	人

●ずるげた……歯のない下駄。下駄を履くことが少ない。正月にカラコ口と歩くくらいだ。足袋はいて、下駄で足元をピシリ決め、明けましておめでとうございます。

国体種目と入善町開催可能性

○ 開催可能 ○ 施設の整備で開催可能

国体開催種目	会場分散 可能数	開催 可能	国体開催種目	会場分散 可能数	開催 可能
陸上競技	1		ボクシング	1	
水泳	3		レスリング	2	
サッカー	2	○	重量挙げ	1	
ラグビー	2	○	空手	1	
テニス	2		銃なぎ	1	
軟式野球	2		相撲	1	○
ホッケー	1		体操	1	○
軟式野球	2		道術	1	
高校野球	2	○	車	1	
ソフトボール	2		馬	1	
アーチェリー	1		自転車	1	
ハンドボール	2	◎	ライフル射撃	3	
バレーボール	4	◎	クレー射撃	1	
バスケットボール	4	◎	漕艇	1	
バドミントン	1	◎	ヨカ	1	
卓球	1	◎	カヌー	2	
柔道	1	◎	山岳	1	
剣道	1	◎	ボート	1	



2000年国体へGO発進

2000年に富山県で開催が予定されている第55回国民体育大会。地域に根ざした国体を目ざし競技会場を広く県内各地に設ける方針で、早くも準備が始まっています。入善町としても国体競技の開催に対して意欲も高まり、11月には国体誘致委員会が発足。準備に本格的に乗りだしました。

種目決定は
平成4年

生涯スポーツの基盤づくりや新世紀の文化創造に向け、いろんな分野にわたって期待が寄せられている2000年国体。全国から大勢の人々が集まることから、競技だけでなく、各種のイベントの企画にも力がある。町のPRにもつながります。何よりも町民総参加の開催努力が郷土愛を育て、21世紀への遺産としてスポーツ・文化の町づくりへ貢献できるものと考えられます。そのためには、3万町民の総意にもとずき、ニーズに合った種目の誘致・開催が必要です。

11月19日には、体育・スポーツ団体や文化団体の長によって

2000年国体入善町誘致委員会が発足、第一回目の話し合いが行われました。また、町体育協会20種目の代表による会議も同時に進められています。これらの委員会や会議が今後も逐次開かれます。今月中に屋内外それぞれ2〜3種目を選定し、希望順位をつけて県へ申請します。その後、県の調査・検討が慎重に繰り返され、平成4年には各種目競技会場が発表されます。そして、日本体育協会の審議を受けて平成9年に正式な決定となります。町の体育施設の現状や今後建設が計画されている総合体育館などを考慮に入れると、現段階では上の表にマル印で示した種目が、有力な候補となることができます。

ただし、施設拡充など努力次第で開催可能な種目もあり、また、選手の受入宿泊施設などの課題も残されています。町民の皆さんの希望をできるだけ多く取り入れ、入善町にふさわしい種目の誘致に全力を尽くしていきます。

国体種目誘致に対してのご意見は、役場スポーツ振興課まで。

案内

ご協力ありがとうございます
ございました

町づくりアンケート

「町民総合計画」づくりの第一歩として、みなさんが日ごろ考えておられる町づくりの課題やご意見・アイデアを聞こうと実施した「町づくりアンケート」。11月に配布した7750部のうち、いただいた回答は6598部。現在スタッフらによって回答結果の集計作業を行なっています。貴重なご意見・提案もたくさん寄せられました。ご協力ありがとうございました。なお、集計結果は来月広報2月号にて発表します。

走り初めに チャレンジ

毎年恒例の元旦マラソン。さわやかな「初汗」をかいてみよう！

▼時間・場所：午前9時30分から10時30分まで 武村福祉会館で受付。11時に福祉会館スタート。

▼コース：2km、4km、6km。

▼申込み：受付は当日で、完走者には完走証を交付。積雪・雨天の場合は中止することもあります。詳しくは、スポーツ振興課 72-11100 内線 661

●はつつお……初穂。何でも初ものが良い。子供の頃、床屋さんから帰ると「はつつお」といって友だちに頭をたたかれた。これは、ごく親しい間柄で友情の表現。「はつつお」「はつつお」

1月10日(水)午前8時から
1月12日(金)午前8時まで
断水します

黒東合口水路改修工事に伴い、本線及び各支線水路が48時間断水します。各家庭での火の用心や排水等にご協力をお願いします。

火の元には要注意!!



あたたかいご芳志に感謝いたします。

◆社会福祉事業資金へ (11月11日~12月10日)

青木	青木地区婦人会 代表 広島ノブ子	10,000	「青木まつり」のバザーの収益金の一部
八幡	八幡婦人会	8,310	チャリティバザーの収益金の一部
	イシハラタゴシ	433	北銀振込
田ノ又	坂東 房子	2,471	小銭をためて
田ノ又	坂東 弘	50,000	亡母トキの供養として
入善	裏千家「萩の会」 代表 荻浦宗勢	50,000	チャリティ茶会の収益金を
	上田 こそゑ子	30,000	民生委員協議会退任を期して
	柚木 内きみ子		
栲山	常福寺仏教婦人会	20,000	歳末たすけあいとして
八幡	北日本テクノロジー 従業員一同	13,910	忘年会チャリティの収益金を

◆入善町交通遺児の資金積立へ

春日	舟渡 桂	19,150	小銭をためて
上野	高田 正夫	8,321	〃

◆物品の部

田ノ又	坂東 弘	タオル 100本	福祉施設
吉原	柳原白雪会 会長 上原ハツエ	タオル 140本	〃
		お手玉 300ヶ	〃
入膳	6区5班 「うめぼし会」	タオル 50本	〃

お世話になります

民生・児童委員決まる

12月1日付けで、次のかたがたが民生委員及び児童委員に厚生大臣から委嘱されました。地域における社会福祉の増進と児童の健全育成のために、住民とのパイプ役、相談役として今後3年間お世話になります。

◆入善地区・18名

沢田キミ子 大角正次 堂本宗利 新浜久雄
森田松島 上野節子 金森樹智朗 神子沢邦子
藤井 実 竹内稔子 広川花子 柳原みつ
上田すみ子 竹内道夫 米沢四郎 広川昌子
田中正子 室 英一

◆上原地区・7名

籠瀬富美子 宝田和子 草島幸子 高田丞正
吉島貞子 大森隆子 大野八郎

◆青木地区・4名

川原マサ子 吉沢久美子 稲場政治 松平信義

◆飯野地区・12名

長田隆一 細田レイ子 沼田綾子 塚田竹次
志摩明雄 岡嶋麗子 井田 清 米田キクエ
広田昭三 小田セツ 島田竹次 瀧本昭子

◆小摺戸地区・4名

井林敏子 柳沢全之 福沢ミサオ 松岡文雄

◆新屋地区・6名

荒田義則 早川誠一 稲村圭二 長谷準策
宮腰守義 藤田政也

◆栲山地区・4名

松田誠一 田中重雄 上田郁子 林 健市

◆横山地区・5名

尾山貞子 尾山清松 松田ミエ子 池原三治
谷 儀一

◆舟見地区・5名

瓜生義堯 西尾みか子 藤谷良華 愛場留義
梨木梅作

◆野中地区・3名

大割輝明 水上孝男 松平重雄

お知らせ

新春囲碁・将棋大会

◆囲碁：1月14日(日)
◆将棋：1月21日(日)
◆時間・会場：いずれも午前9時から入善町民会館2階和室
◆クラス：A・B・C・D(将棋は小学生クラス)の4階級
◆参加費：一般1000円、小学生以下500円(含昼食代)
◆その他：受付は当日会場にて。入賞者には賞状と賞品を贈呈。詳しくは生涯学習課 ☎72-1100内線661



町民スキー大会

◆期日：1月28日(日)
◆時間：午前9時受付
◆会場：宇奈月温泉スキー場
◆種目：大回転競技
◆出場資格：町内在住者(小学生の部は5年生以上)
◆申込み：1月22日(月)までスポーツ振興課 ☎72-1100内線661

花の万博と宝塚

町民ふれあい号の行先が決まりました。◆期日：6月10日(日) 11日(月)◆花の万博と宝塚温泉
◆料金：5万1000円(予定)
◆募集人員：240名◆詳しくは広報3月号号でお知らせします。

◆ぞん……雑煮。だしは、魚から肉へと好みが変わった。餅を煮てから「だし」をかけるのが普通。昔は、年の数ほど餅食った。今じゃ、餅を食わずに年を食ってしまった。ああ！年食った。

私たちの広場

ご意見などを
お寄せください

この広場は—
●ご意見 ●イラストやマンガ ●グループの紹介 ●私の趣味……などに利用したいとを考えます。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報担当係 ☎72-1100
内線 203

「平成二年一月」

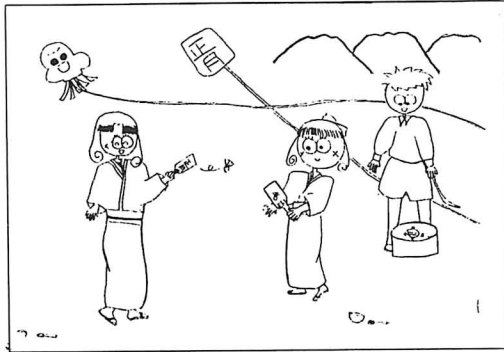


イラスト
杉本房恵さん
(上野5区・中2)

社交好きな尺八名人



細田忠義さん
(東狐・62歳)



▲自宅にて。音の響き具合でその日の体調がわかるそうです。

音というよりはまるで生きた叫びのように、回りの空気をピンと張り詰める悲壮な響き。 「尺八は、私たちがどこかに抱いている『日本の心』を呼び起こしてくれるような気がします」と、一曲のあと静かに語る細田さん。

尺八は、その名のとおり1尺8寸の竹で作った日本古来の楽器ですが、実際にはいろんな人の声域に合わせて何種類かの長さがあります。細田さんが持っているのも全部で7種類12本、高いものは1本が50万円以上もするそうです。 「どんなに高価なものでも体に

調が悪いと音が出ません。瞬間的に息を強く吹き込む奏法ではかなりの体力を必要とするんですよ」と説明します。 細田さんが尺八の魅力にとりつかれたのは18歳のとき。まだ戦争のさなかでしたが、一日の仕事が終わると毎日、自転車で行った先生のもとへ習いに行っていた。今では「都山流」の最高の称号である大師範の資格を持ち、町の芸能祭はもちろん、県内外のいろんな邦楽の催しにも出演します。お正月には特に「注文が多く、各地の新春のお祝いでは引っぱりだこ。

北陸電力からお願い
さわらないて!

切れた電線には絶対にふれないで、北陸電力入善営業所へお知らせ下さい。

☎七二一〇〇三三

★シーハイル号 (毎週日・祝日)

赤倉コース	大人¥6,000	小人¥4,000
梅池コース	大人¥4,000	小人¥3,000

★新年カラオケ列車 1/27(土)~1/28(日)
輪島朝市と高州園の旅 ¥25,000

日曜・祝日も営業しております。

ニュージャパントラベル
TEL 74-0151(代)

●①ほー……背負う。おんぶのこと。「ほーたると子供に背むけ雪の道」その子も大きくなり、私が背負われる番になった。時の流れに身をまかせ、坊にほわれて初詣。

グループ登場

女性のあこがれを求めて

人形「真紅」

「自分の手で何かを創りたい。余暇を有効に使いたい」ということで始めました。長い時間をかけて、完成したときの喜びは格別なものです」と話す代表の松島豊子さん(袖沢・42歳)。



▲みんなお人形さんのかわいい……かな？

「真紅」は、京都賀茂人形作りの名人である「真多呂」という人の一文字をもじって名付けました。桐粉に糊を混ぜ合わせて作った人形の原型にミゾをつけ、そこにはめ込むように平安王朝や桃山・江戸時代の衣裳の端布を着せます。いわゆる木目込人形の手法です。「衣裳の折り目の直線や丸みをいかに自然な感じで出すかが難しいところですね」と説明します。

会員は14名。毎週月曜の夜に町民会館の和室に皆さんが集まります。「家で作るほうが能率もあがるのですが、みんなで教え合ったり、わいわいやるのがむしろ楽しみになってきましたね」と話す皆さん。作業の合間のティータイムには、それぞれが持ち寄ってきたお菓子の試食会が始まり、時間のたつのを忘れます。会員宅には、手作りのおひなさまや五月人形がずらりと並んでいるとか。暇を見つければコッソツと1ヶ月ほどかけたお正月飾りの人形も、もうすぐ完成します。「男性がいらないのが少し残念。新年を迎え会員の輪も広げていきたいですね」と笑顔で抱負を語ります。



高田正夫さん (上野4区・46歳) 晃さん (20歳)

親子パワーで この冬安心

「除雪作業は住民の冬の生活を守るためには欠かせません。仕事を受け持ったのはいいのですが、責任の重さをあらためて感じますね。」

高田正夫さんと長男の晃さんは、この冬の町道除雪の民間人オペレーターとして、親子そろってこの冬活躍します。二人のほかにも白又正明さん(新屋・36歳)、米山義隆さん(新屋・25歳)ら合わせて4人が、私たち



▲二人が運転する除雪車の前で。点検作業も欠かせません。

の冬の足場を守る大切な任務を引き受けてくださいました。高田さん親子は二人で農業を営み、稲や大豆、大麦、受託田を合わせ45町歩を耕作する中核農家。冬の農閑期を利用しての仕事とはいえ、この冬は忙しくなりそうです。

担当区域は、上原から小摺戸(新屋)舟見(野中)、そして飯野までの路線、約25km。12月1日から3月31日までの間、二人コンビで排雪板付トラックに乗り込み、開始は朝4時、雪が降れば休日もお構いなしという大変な作業が続きます。

「毎日天気予報が気になります。事故の無いようにしたいですね」(正夫さん)。「スキーに行けなくなるのが残念だけど、精一杯がんばります」(晃さん)。「さすがの冬將軍も「マイツタ」をするほど力強いお二人です。」

歌って、飲んで 憩いの館



snack 巧セル 入善町舟見 78-2233

安心と信頼の店 建設土木資材・建築金物・電動工具 セメント・LPガス

水越金物店

入善町舟見1759 TEL 78-1523(代) FAX 78-2123

今月の

さわやかさん

No.73



沢井ゆかりさん 日東紡績(株) 泊工場勤務 (舟見7区・23歳)

入社して5年目。もうすっかりベテラン?という感じです。人事を担当し、社員の給与計算がおもな仕事です。冬のボーナス、年末調整と一番忙しい時期も無事に乗り越え、どうにか良いお正月を迎えることができそうです。この一年は、割と平凡に終わったという感じ。スキー、海外旅行、大恋愛...、今年こそはやりたいことは何でもチャレンジして、バラ色の一年にしたいですね。

私もそろそろ年頃、"結婚、の二文字がちらついてきます。お花や料理など花嫁修業も始めなくちゃ。それから体のシェイプアップ。お風呂に入るのが好きで、「ふれあい温泉」へはよく行きます。肌がつるつるになるので美容にはもってこい。もちろん、毎日の厳重な体重チェックも忘れていませんよ。(笑)

好きな男性のタイプは、思いやりがあって自分の意志をしっかりと持っている人。しかも、肩幅の広い人なら最高ですね。



昨年は、「広報で読みました。おめでとうございませす。」とカウシター越しに声をかけ、図書館の表彰を喜んでくださった方が多々ありました。職員一同、大変嬉しく、良い年を迎えること

ができました。

今年はこの励ましを糧に、町民一人ひとりの書齋として、より親しまれる図書館づくりをめざします。さて、昨年の主な文学賞作品です。あなたと本との素敵な出会いを期待してご紹介します。

- ＜芥川賞＞
▼上半期(第100回) 「ダイヤモンドゲスト」南木佳士 「由熙」季良枝
＜直木賞＞
▼上半期(第100回)

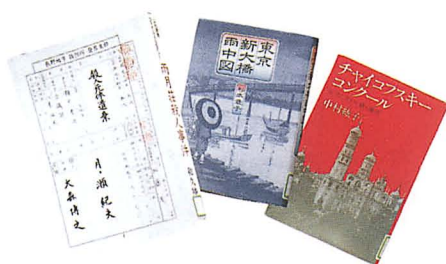
あなたと図書館

素敵な出会いを... 文学賞の受賞作品

☎72-0180

(直通)

休館日:毎週火曜日 1日(月)~3日(水) 26日(金)



- 「東京新大橋雨中図」杉本章子 「熟れてゆく夏」藤堂志津子
▼下半期(第101回) 「遠い国からの殺人者」笹倉明 「高円寺純情商店街」ねじめ正一
◆日本推理作家協会賞(第42回) 「雨月荘殺人事件」和久峻三 「伝説なき地」船戸与一

- ◆女流文学賞(第28回) 「黄色い猫」吉行理恵
◆大宅壮一ノン・フィクション賞(第20回) 「ストロベリー・ロード」石川好 「チャイコフスキー・コンクール」中村絃子
◆講談社ノンフィクション賞(第11回) 「収容所から来た手紙」辺見じゅん
◆野間文芸賞(第42回) 「孔子」井上靖
◆江戸川乱歩賞(第35回) 「浅草エノケン一座の嵐」長坂秀圭
◆三島由紀夫賞(第2回) 「黄昏のストーム、シーディング」大岡玲
◆山本周五郎賞(第2回) 「TUGUMI」吉本バナナ

▼平成元年。私はこの年を決して忘れることはないでしょう。なんとと言っても、4月から広報担当という重大な任務を仰せ付かったことが一番の出来事。不安だけを背負ってスタートしたのが、あれよあれよと月日が過ぎ去って、あつという間に新しい年を迎えることになりました。▼その前に、ここらで一年分の懺悔をしておこうと思います。撮影の失敗に気づき、インタビューした人に3回も写真の撮り直しをお願いしたこと。毎月のように指摘される誤字・脱字。取材日を間違えたり、締切日に間に合わなくなったりして頭を下げに行ったこと数知れず。▼「失敗は成功の母」という言葉信じ、今年さらには読みやすく、楽しい紙面をみんなで作りたいです。大勢の皆さんに登場してもらい、新しいコーナーも設けて...と、少し欲張りな一年の計。どうぞ本年もよろしく。

編集室

今月の人口

Table with population statistics: 人口 30,170(-5), 男 14,447(-7), 女 15,723(+2), 世帯数 7,852(-5)

()内は前月比 11月末日現在住民登録